

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	38078	
事業名	社会的養護自立支援費						
評価担当課	所属名	子)児童相談所 地域連携課					
	課長名	山形	担当者名	山本・海野	電話番号	011-622-8620	
施策名	主	子ども・若者を社会全体で育成・支援する環境づくり					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ● その他					
	目的	短期	長期目標に同じ。				
		長期	20歳到達により児童養護施設等の入所措置を解除された者等のうち、自立のため支援を継続して行うことが適当な場合において、原則22歳に達する日の属する年度の末日まで、個々の状況に応じて、引き続き必要な支援を実施することで、将来の自立に結びつける。				
	取組内容	①里親等委託や児童養護施設等への入所措置を受けていた者について、18歳(措置延長の場合は20歳)到達による措置解除にあたり、継続支援を行うための支援コーディネータを配置。②①の対象者のうち、原則22歳の年度の末日まで、引き続き施設等に居住して必要な支援を提供。また、自立援助ホームに委託されていた就学中の者について、必要に応じて20歳到達後も原則22歳の年度の末日まで、当該ホームへの委託を継続し、必要な支援を提供。③施設等の退所(予定)者等への生活相談、就労相談支援の実施。					
	実施結果	令和3年度は延べ18人が居住費等の支援を受けた。					
事業実施における工夫点	なし						
対象者	児童養護施設等の退所者等			開始	平成29年度	終了	0年度
関連法令・条約・要綱等	児童福祉法、社会的養護自立支援事業実施要綱、就学者自立生活援助事業実施要綱、児童虐待・DV対策等総合支援事業費国庫補助金交付要綱、札幌市社会的養護自立支援事業実施要綱						
他都市の状況	北海道及び他政令市で順次開始している。						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	30,431	37,000	38,610	76,000	
うち特定財源	15,215	18,500	19,305	38,000	
人工	0.3	0.3	0.3	0.3	
人件費	2,160	2,160	2,160	2,160	
計(事業費+人件費)	32,591	39,160	40,770	78,160	
事業費の内訳	令和3年度決算	①支援コーディネーター配置5,885千円 ②生活・就労相談支援員の配置6,050千円 ③居住費・生活費支給26,675千円			
	令和4年度予算	①支援コーディネーター配置7,949千円 ②生活・就労相談支援員の配置7,803千円 ③居住費・生活費等の支給60,248千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	就職支援が必要とされた者の就職率			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	100%	100%	0%	100%	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	居住費等を施設に対して支給することで措置解除後も施設で生活することが可能となり、施設から対象者への継続的な支援が実施できる体制を整えるとともに、支援コーディネーターの配置や生活・就労相談により、将来の自立に結びつけることができた。 なお、令和3年度の就職率が0%ではあるが、転職や資格取得に向けたサポートなど対象者に必要な支援は実施している。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	国が示す社会的養護自立支援事業の項目を実施している。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	生活費等の支給は、施設入所時の措置費と性質が同一であるため、行政が実施することは適切である。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	支援コーディネーターの配置や生活・就労相談の実施により、対象者のニーズを細やかに把握し、適切な支援につなげることができている。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	なし				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	自立支援事業の一環として、一定期間一人暮らしを体験することで自立への不安を軽減するメニューを追加した。		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	施設や支援コーディネーター等から継続的な支援を実施することにより、将来的な自立に必要な基盤形成に寄与することができた。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善 ○ 現状維持 ○ 休止・廃止 一度、施設等から自立したものの、自立生活を継続できなかった施設等退所児について、本事業による支援に繋ぎなおすことができるよう、施設退所児のフォローアップ調査を実施する。			
	予算	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ その他 上記フォローアップ調査にかかる費用を加算		見直し効果額	0 千円